

## 学術創成研究費 中間評価基準

学術創成研究費の研究経過等の状況を把握し、当該研究課題の今後の発展に資するため中間評価を実施する。評価に当たっては、「1．評定要素」を基に総合的に評価し、「2．評価基準」で整理した後、合議で評価を行うものとする。

### 1．評定要素

#### (1) 研究を推進する必要性について

- ・推薦の趣旨に照らし、採択時以降の関連研究分野の学術動向を踏まえた上で引き続き研究を推進する必要性は高いか。

#### (2) 研究の進展状況について

- ・当初の研究目的に沿って、着実に研究が進展しているか。
- ・今後の研究推進上、問題となる点はないか。

#### (3) これまでの研究成果について

- ・当初の研究目的に照らして、現時点で期待された成果をあげているか。(又はあげつつあるか。)

#### (4) 研究組織について

- ・研究者相互に有機的に連携が保たれ、活発な研究活動が展開される研究組織となっているか。

#### (5) 研究経費の使用状況について

- ・研究経費は効率的・効果的に使用されているか。

### 2．評価基準

区分	評 価 基 準
A +	研究の更なる発展が期待でき、より一層の推進を期待する
A	順調に研究成果を上げつつあり、現行のまま推進すればよい
B	概ね順調に研究が進んでいるが、今後一層の努力が必要である
C	現状において研究成果が期待できず、研究経費の減額又は研究の中止が適当である